

インフォメーション

病院・福祉施設の

看護・介護スタッフ募集

応募

まずは、お電話ください。
面接時に詳しい勤務体系等
ご説明させていただきます。

勤務時間 ▶ 法人規程による
給与・休暇 ▶ 入職施設により異なる
待遇 ▶ 詳細面談にて説明
勤務先 ▶ 右記の施設

清水会グループ 統括本部 採用係
☎06-6952-5188

〒535-0022 大阪市旭区新森3丁目1-12
URL <http://www.seisukai.net/staff.html>

医療法人 清水会

● 鶴見緑地病院
● おひさま園
● 森小路 清水会クリニック

社会福祉法人 清水福祉会

● さくら苑
● ケアハウス鶴見緑地
● 城東こすもす苑
● 鶴見緑地苑
● サービス付き高齢者向け住宅 さくら
● 介護付き有料老人ホーム 鶴見緑地 **NEW**

Webでも
随時更新中!



編集後記

▼対談のテーマは「地域包括ケアシステム」。同システムの内容や具体的な取り組み、現状と今後の展望を語っていただきました。

▼診療科紹介では「もの忘れ外来・脳ドック」を特集。高齢に伴う認知障害は早期発見、適切な治療が肝要です。

▼育つ楽しみ、収穫の喜び。さまざまな種類の野菜でにぎわうおひさま園の家庭菜園を取材しました。

▼里芋やきのこなど、秋の味覚をふんだんに使った「季節の炊き込みごはん」のレシピを掲載。胃腸が疲れ気味の方におすすめです。(M)

清水会グループ



医療法人 清水会
鶴見緑地病院
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-8
☎06-6997-0101 ㊟06-6992-0151



医療法人 清水会
介護老人保健施設 おひさま園
〒535-0021 大阪市旭区清水2-1-21
☎06-6952-0101 ㊟06-6957-0202



医療法人 清水会
ミズノ胃腸科内科整形
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6952-5058 ㊟06-6952-5311



医療法人 清水会
森小路 清水会クリニック
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-24
☎06-6958-7070 ㊟06-6952-7755



医療法人 清水会
トム・ソーヤ 訪問看護ステーション
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6956-0505 ㊟06-6956-0808



社会福祉法人 清水福祉会
介護老人福祉施設 さくら苑
〒535-0021 大阪市旭区清水3-15-23
☎06-6957-8008 ㊟06-6957-8009



社会福祉法人 清水福祉会
サービス付き高齢者向け住宅 さくら苑
〒535-0001 大阪市旭区太子橋2-8-31
☎06-4254-3003 ㊟06-6951-1001



社会福祉法人 清水福祉会
介護保険特定施設 ケアハウス鶴見緑地
〒570-0044 守口市南寺方南通3-4-16
☎06-6998-3003 ㊟06-6998-3001



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム 城東こすもす苑
〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-2-38
☎06-6933-2002 ㊟06-6933-2333



社会福祉法人 清水福祉会
特別養護老人ホーム 鶴見緑地苑
〒570-0032 守口市菊水通3-16-2
☎06-6995-5005 ㊟06-6995-5225



社会福祉法人 清水福祉会
サービス付き高齢者向け住宅 さくら苑
〒535-0022 大阪市旭区新森3-3-31
☎06-6958-7007 ㊟06-6952-7733



社会福祉法人 清水福祉会
介護保険特定施設 ケアハウス鶴見緑地
〒570-0043 守口市南寺方東通1-1-31
☎06-6997-9009 ㊟06-6992-9009
平成26年4月オープン

清水会グループ URL <http://www.seisukai.net/>



医療と介護。そして、その未来へ。



Seisui

Contents

- 02・03 特集 <対談>地域包括ケアシステムを考える
- 04 診療科紹介<もの忘れ外来・脳ドック>
- 05 第三者評価受審／福祉車両(日本財団)の配備
- 06 おひさま園の家庭菜園／気になる症状
- 07 新任ドクター紹介／レシピ紹介

表紙写真／高山植物の女王<コマクサ>
撮影：山内康雄Dr. (鶴見緑地病院)

2014.09 Vol.11

守口第6地域包括支援センターの取り組み 認知症サポーター養成講座が大好評



守口第6包括支援センター 看護師 **寺坂昌枝**
TERASAKA MASAE

団塊の世代が75歳以上になる2025年。

この時点を目途に、重度の要介護状態となっても、地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けられるための地域包括ケアシステム。今回は、守口第6包括支援センターの寺坂昌枝看護師とおひさま園の橋村一也支援相談員に、同システムの内容と具体的な取り組みについて語っていただきました。

理念

- 1 私達は 医療、介護、福祉を通じ地域に貢献する。
- 2 私達は 多くの方々に愛される施設をめざす。
- 3 私達は 調和のとれた、豊かな人間性の育成につとめ、誇りと責任を持ち、日々研鑽を重ねる。

地域包括ケアシステムについて

編集部 地域包括ケアという言葉をよく耳にします。まず、地域包括ケアシステムについて教えてください。

寺坂 高齢者の方や障がいを持った方が、住み慣れた地域で、安心して暮らしていけるためには、介護をはじめ、必要な時に必要なサービスを受けて生活を続けられるようにする必要があります。そのためには、介護保険の保険給付だけでは十分ではありません。

日常生活圏域内において、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援サービスが、切れ目なく、有機的かつ一体的に提供される仕組みが必要です。

橋村 そこで、ニーズに応じた医療や介護のみならず福祉サービスを含めたさまざまな生活支援サービスが日常生活の場で、包括的・継続的に提供できるような地域での体制、すなわち「地域包括ケアシステム」が求められることになります。

寺坂 では、なぜ今このケアシステムの取り組みが必要なのかといいますと、2025年には団塊の世代の人たちが75歳以上の後期高齢者になります。その時に、たとえ重度な要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるよう、地域包括ケアシステムの構築を実現していくことが必要になります。

さらに、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも必要になります。高齢化の進展状況には、大きな地域差が生じています。

たとえば大都市部では人口は横ばいで75歳以上の人口が急増しています。各地域の高齢化の状況は異なるのでそれぞれの地域の特性に応じた対応が必要になってきます。

求められる地域での医療と介護

守口第6地域包括支援センターの取り組み

編集部 地域包括ケアシステムの内容、大切さ、現況がよくわかりました。

そこで、現在、守口第6地域包括支援センターが取り組んでいる活動とその課題について教えてください。

寺坂 代表的ないくつかを紹介します。

一つは「認知症サポーター養成講座」の開催です。より多くの方に関心を持っていただく為に鶴見緑地病院の脳外科医・山内康雄先生にも協力医として病気の事や予防について講義をいただいています。今年の5月に2回行ったところ、大変大きな反響があり、7月に追加講座を行いました。家族介護教室「いちごの会」の開催も好評裏に行われています。7月19日鶴見緑地病院で、4回目を開催。包括職員による成年後見制度について○×クイズなど盛り込み理解を深めました。

橋村 「おひさま園」は、介護老人保健施設ですから、一日でも早く、明るい家庭生活へ復帰していただくことを目指して、地域やそれぞれのご家庭と密接に連携を取りながら、入所者の皆さんのお手伝いをさせていただいているわけですが、その際、ご家庭にお帰りになった後の、夜の時間帯が心配で帰れないという方もいらっしゃいます。そのような人には、24時間体制で訪問介護や訪問看護を提供することができれば、安心して家庭生活に復帰することができるわけです。実現するにはクリアしなければならない課題もありますが。

寺坂 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくものであることはもちろんですが、私たち守口第6



おひさま園 支援相談員 **橋村一也**
HASHIMURA KAZUYA

地域包括支援センターの地道な活動を通して、少しずつ地域包括ケアへの理解と協働の輪が広がってきているのも事実です。

大事なことは、地域住民同士の支え合いや生きがい作りなど、自分たちで自分たちの地域を住みやすい地域にしていこうという意識を皆さんが持っていただくことだと思います。

高齢者や認知症のある方、障がいをお持ちの方等を、みんなで温かく支え合う優しい地域になってほしいと願っています。

橋村 私どもが掲げている理念に、「私達は医療、介護、福祉を通じ地域に貢献する」との項目があります。

現在行っている訪問リハビリや居宅介護支援センターなどいろんなサービスを駆使して、しっかりと地域貢献に取り組んでいきたいと思っています。

診療科紹介 もの忘れ外来・脳ドック

世界一の長寿国である日本は、平均寿命が80歳を超えました。元気に老後を過ごしている人が多い中で、80歳を超える人の4人に1人がもの忘れなどの認知障害を伴っていると言われています。鶴見緑地病院には、こうした人の診療を行う「もの忘れ外来」や「脳ドック」があります。今回は、その概要をご紹介します。

もの忘れ外来

認知症の初期症状は、約束事を忘れるようになった、道に迷うようになった、着替えがうまくできなくなった、それまでできていたことで失敗することが多くなった、物をなくすようになったことなどです。そうした症状は、自分で気付くこともあれば、家族が気付くこともあります。

気になることがあれば、早い段階で受診することが大事です。

もの忘れ外来の診断・治療の流れは

- ①外来受診
 - ②問診・診察
 - ③必要に応じて検査(頭部CT、MRI検査等)
 - ④診断
 - ⑤病状説明
 - ⑥治療・対応(内科的・外科的治療)
 - ⑦介護、薬物治療や非薬物治療となります。
- 早期による適切な治療やリハビリテーションによって、認知症の進行を遅らせることができます。



VSRAD(ブイエスラド)検査

必要に応じて行う検査にブイエスラド検査があります。鶴見緑地病院では、最新型1.5テスラMRIによって、脳の海馬傍回付近における脳の萎縮の度合いを検査するものです。検査は、MRIで撮影した頭部の画像データと、あらかじめ用意しておいた健康な脳の画像から作ったデータをコンピューターで照合・解析し、脳の萎縮の度合いを測ります。海馬傍回付近は非常に小さく、目で萎縮を確認することは難しいのですが、ブイエスラドではコンピューター解析により、確認できます。

脳ドック

脳梗塞や脳出血、くも膜下出血などは、「発症してから」の治療では遅く、「発症を防ぐための予防」が重要です。そこで、脳の病気を未然に発見するためにスタートしたのが「脳ドック」です。

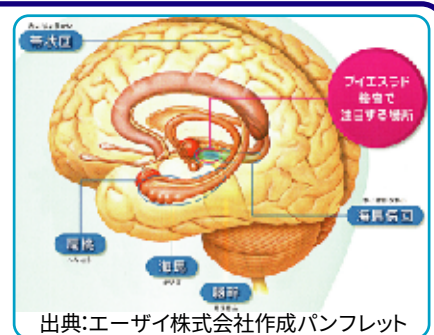
健康への意識が高まる中、受診者も年々増えています。検査の主役となるのは、MRIやMRAなどの画像検査で、それに加えて、血液検査、尿検査、心電図などが行われます。

万が一、何らかの異常が発見されたとしても、多くはすぐに進行、悪化する恐れのないもので、経過観察となります。これは、食事や運動などの生活習慣の改善を行えば、特別な処置をしなくても病気の発症を回避することができるということです。



鶴見緑地病院の外来診療

	月	火	水	木	金	土
もの忘れ 不眠	×	×	×	×	○	×
	AM9:00～12:00 ●予約制					
脳ドック	○	○	×	○	×	×
	AM9:00～12:00 ●予約不要					



出典:エーザイ株式会社作成パンフレット

第三者評価受審の取り組み

第三者評価とは、事業の管理運営が適切にできているかどうかを第三者が客観的に評価するもので、管理運営水準の一層の向上を図るためのモニタリング制度の一つです。

社会福祉法人 清水福祉会の施設系(特別養護老人ホームさくら苑、養護老人ホームさくら苑、ケアハウス鶴見緑地)では、平成21年9月から11月にかけて順次、大阪府社会福祉協議会福祉サービス第三者評価センターにて第三者評価を受審しました。その評価によって現在の事業所の問題点や改善点あるいは継続点が明確になり、以降の事業所運営に反映させ、さらなるサービスの向上に努めてきました。今回、平成25年6月から11月にかけて、特別養護老人ホームさくら苑、養護老人ホームさくら苑、ケアハウス鶴見緑地の3施設が2回目の第三者評価を受審したのに加え、新たに特別養護老人ホーム城東こすもす苑が初回の受審をしました。これら各施設では、評価結果を真摯に受け止め切磋琢磨し事業所運営に励むとともに、今後も継続受審を行ってまいります。



大阪府から交付いただいた受審証とステッカー

●詳しくは **WAM NET 福祉サービス第三者評価情報** で検索

第三者評価の内容は、**WAM NET(ワムネット)**の福祉サービス第三者評価情報ホームページ
《<http://www.wam.go.jp>》でご確認いただけます。

福祉車両(日本財団)の配備

「福祉車両」とは、障害者や高齢者の地域生活を応援するための車両です。ヘルパー車、車いす対応車、送迎車などがあります。

社会福祉法人 清水福祉会では、日本財団の活動指針に沿って福祉車両の配備事業に配備を申請し、現在、8台の福祉車両の配備を受けています。福祉車両は、施設と病院間の送迎、イベント参加への送迎、利用者のご自宅から施設への送迎等、それぞれの施設で積極的かつ有効に活用しています。



新デザインの福祉車両



様々な送迎で活躍する福祉車両

TOPICS

最近の話題

おひさま園の家庭菜園 年ごとに野菜の種類が多彩に



収穫の喜びもさることながら、いかにも涼しげな緑のカーテン—と言えば、ベランダや窓辺に植えられたゴーヤ。おひさま園では、3年前からテイルームの日よけが目的で家庭菜園を始めました。声かけをしたのは澤田事務長。年ごとに栽培の種類が増えて、今では、ゴーヤをはじめ、キュウリやトマト、ナス、トウモロコシ、スイカなど様々な野菜が菜園をにぎわしています。

栽培を担当しているのは、おひさま園のドライバーの伊藤さん。「野菜の栽培はまったくの素人ですが、見よう見まねで取り組んできました。難しかったのはトマトの栽培でした。」とのこと。

「施設の入所者が、立派に育った野菜をうれしそうに収穫しておられる姿が見られます」と事務長は語っています。

気になる症状【Q&A相談コーナー】

Q 喫煙と肺がんについて教えてください。

A 肺がんはがんの中でも1番致死率の高い病気であり、タバコが一番の原因と言われています。喫煙者は非喫煙者の5倍のリスクがあり、1日に20本以上吸う人はさらに10倍のリスクがあると言われています。(タバコの副流煙を吸っていても同じです。)

しかし、近年の研究で非喫煙者でも肺がんになる事がわかってきました。紫外線などの影響で遺伝子に異常が発生して発がんすると言われています。つまり肺がんは喫煙者であっても非喫煙者であっても起こり、喫煙者はそうでない人の5～50倍のリスクがある病気だということです。では、何故肺がんは致死率が高いのかというがんが出来ても症状として現れにくく発見が遅れ、発見した時には進行期のことが多いからです。

進行した肺がんは手術ができないので、抗がん剤による治療しかできません。抗がん剤ではがんの根治は望めず、根治を目指すなら早期発見をして手術をするしかありません。早期発見するために毎年健康診断を受けてください。心配なら病院に来てCT検査を受けてみるのもいいかもしれません。



鶴見緑地病院
山中雄太 医師
YAMANAKA YUTA



新任ドクター紹介

医療法人 清水会
鶴見緑地病院



循環器内科
石戸隆裕 医師
ISHIDO TAKAHIRO
兵庫県宝塚市出身
44歳

6月4日から勤務しています。関西医科大学循環器内科を卒業しまして、福井赤十字病院、宝塚病院、済生会泉尾病院を経て鶴見緑地病院に勤めることになりました。

心がけていることは患者さんとのコミュニケーションです。患者さんの話をよく聞き正しい判断ができるよう、心掛けています。高齢者の治療だけでなく、生活のマネジメントに取り組みたいと考えています。



呼吸器内科
山中雄太 医師
YAMANAKA YUTA
大阪府枚方市出身
28歳

関西医大を卒業して3年間、大学病院に勤務後、今年4月から鶴見緑地病院に勤めています。両親ともに医師で、医師になることが既定の事実のように育ちました。

私はサッカー選手になりたかったのですが(笑)。モットーにしていることは「元気」です。病気を克服された患者さんが元気に退院されるときが何よりうれしいです。私がいま取り組んでいる研究テーマは肺がんの抗体です。

レシピ紹介コーナー

栄養課



管理栄養士 村上祐子
MURAKAMI YUKO



秋の味覚 炊き込みごはん

秋の味覚である里芋ときのこを使った炊き込みごはんです。里芋の独特のぬめりに含まれる成分、ガラクトマンナン。これらは水溶性の食物繊維です。どちらも免疫力を高める効果や胃腸の調子を整える効果があるので、胃が疲れ気味の方におすすめの食品です。きのこは低カロリーで食物繊維が豊富な食品です。秋のきのこは香り高く、たっぷり使うことでうま味が増し、ボリューム感が出ます。いろいろなきのこを使って作ってみてください。

recipe

【材 料】(4人分)

米……………2カップ
里芋……………4個
まいたけ……………1/2パック
えのきたけ……………1/2袋
人参……………1/3本
ちりめんじゃこ……………ひとつかみ
貝割れ菜……………適量
酒……………大2
しょうゆ……………大2
だし汁

【作り方】

- ①米は洗ってざるに上げておく。
- ②里芋は洗って皮をむき一口大に切る。
塩少々をふり、ぬめりを出し、水で洗い流して水気を拭く。
- ③まいたけは、石づきを除き食べやすい大きさにさく。
えのきたけは根元を落として半分に切る。人参は短冊切りにする。
- ④炊飯器に①、ちりめんじゃこ、酒、しょうゆをいれ、目盛りまでだし汁を加えて一度かき混ぜ、②と③を加えて普通に炊く。
- ⑤④の蒸らしが終わったら全体を混ぜ、器に盛り、貝割れ菜を散らす。